



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1208 2020 年 3 月 2 日

ARIB からのお知らせ

第 114 回規格会議の開催について

第 114 回規格会議の開催について下記のとおりお知らせいたします。
規格会議委員の皆様のご出席をお願いいたします。

- 1 日時 2020 年 3 月 18 日（水）午後 2 時から 4 時（予定）まで
- 2 場所 東海大学校友会館 阿蘇の間（霞が関ビル 35 階）
東京都千代田区霞が関 3-2-5

3 議案

【通信分野】

- ① IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB STANDARD の改定について
(ARIB STD-T120 Ver.1.60) (Draft)
- ② IMT Systems based on 3GPP Specifications ARIB Technical Report の改定について
(ARIB TR-T23 Ver.1.60) (Draft)
- ③ 狭域通信（D S R C）システム 標準規格の改定について
(ARIB STD-T75 1.6 版) (案)
- ④ 800MHz 帯（広帯域）MCA 陸上移動通信を行う無線局の無線設備 標準規格の廃止
について（RCR STD-8）
- ⑤ 800MHz 帯（狭帯域化）MCA 陸上移動通信を行う無線局の無線設備 標準規格の
廃止について（RCR STD-23）
- ⑥ 800MHz 帯（狭帯域化）MCA 陸上移動通信を行う無線局の無線設備（PSTN 接続機
能を含む。） 標準規格の廃止について（RCR STD-24）

【放送分野】

《デジタルスタジオ》

- ⑦ 映像・音声・データ個別ストリーム形式による番組制作用 IP インタフェース
標準規格の策定について
(ARIB STD-B76 1.0 版) (案)

- ⑧ 映像・音声・データ独立型単一ストリーム形式による番組制作用 IP インタフェース
標準規格の改定について

(ARIB STD-B73 2.0 版) (案)

- ⑨ 映像・音声・データ個別ストリーム形式番組制作用 IP インタフェースにおける
ARIB STD-B73 で規定されるデータ構造を持つ RTP ストリームの運用 標準規格の
改定について

(ARIB STD-B74 1.1 版) (案)

《素材伝送》

- ⑩ 超高精細度テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形準マイクロ波帯 OFDM 方式
デジタル無線伝送システム 標準規格の策定について

(ARIB STD-B75 1.0 版) (案)

【その他】

- ⑪ その他

第 172 回電波利用懇話会 中止のお知らせ
「Hyper-connectivity Beyond 5G
- Views on Opportunities and Challenges from Europe -」

3 月 3 日（火）に予定しておりました第 172 回電波利用懇話会は、この度の新型コロナウイルス国内感染の状況を受けて、開催を中止させていただきます。

現在の状況が解消し、改めての開催が決まりましたら、弊社ホームページ等でご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

2019 年度 APT 研修 延期のお知らせ
「5G 時代到来に向けた次世代及び新世代移動通信システム」

3 月 4 日（水）～3 月 11 日（水）に実施が予定されていた標題の研修は、企画元である APT（Asia-Pacific Telecommunity）の決定に基づき、延期されました。

本決定に伴い、ARIB ニュース 1205 号（2 月 10 日）でご案内差し上げた、3 月 5 日（木）に ARIB で開催予定の“カントリーレポート プレゼンテーション”も延期となります。

5G 国際シンポジウム 2020 の開催について

総務省は、2020 年の第 5 世代移動通信システム（5G）の実現に向けた取組の一環として、様々な利活用分野の関係者が参加する 5G 総合実証試験の今年度の成果等を発表するため、「5G 国際シンポジウム 2020～5G が創る未来～」をテーマとした、国際シンポジウム（共催：第 5 世代モバイル推進フォーラム（5GMF）及び一般社団法人電波産業会（ARIB）、後援：一般社団法人情報通信技術委員会（TTC））を 2 月 19 日及び 20 日に開催しました。

本国際シンポジウムでは、今年度の 5G 総合実証試験の成果等を広く国内外に発表するとともに、5G が実現する世界を来場者に体感していただくために、会場内において 5G 総合実証試験に関する展示・デモが実施されました。また、5G がもたらすインパクトについて共有し、さらにその実現を加速するための課題等について議論するために、5G 利活用分野の関係者によるプレゼンテーション・パネルディスカッションが行われました。

2 日間で 1000 名近い参加者があったとともに、海外からアジア 3 カ国・地域（トルコ、インドネシア、韓国）や大学・企業等の 5G 関係者などが参加し、活発な議論が行われたシンポジウムとなりました。

なお、開催にあたっては、新型コロナウイルス対応に万全を期すため、登録者への注意喚起のメールの送信、会場にアルコール消毒液の設置と注意喚起の張り紙の貼付、体調不良の場合の事務局への連絡の周知、体調不良者が出た場合の運営マニュアルの明記等が行われました。



5G 国際シンポジウム 2020 のロゴデザインと会場

1. 日付・場所

日 付： 2020 年 2 月 19 日（水）及び 2 月 20 日（木）

場 所： 東京・有明 TFT ホール（TFT ビル西館 2F）

講演会場：TFT ホール 1000、展示会場：TFT ホール 500 及びホワイトエ

参加者： 約 920 名（1 日目約 470 人 2 日目約 450 人）

2. シンポジウム概要

開会にあたり、主催者を代表して総務省 田原 康生 電波部長からご挨拶の後に、第 5 世代モバイル推進フォーラム 吉田 進 会長（京都大学 名誉教授）から基調講演が行われました。



総務省 電波部長
田原 康生 氏



5GMF 会長 京都大学 名誉教授
吉田 進 氏

【招待講演 1】

「The 5G Revolution : Creating New Possibilities」というテーマで、米国 Verizon 社の Big Data, AI and Location Platforms の Vice President である Sumeet Singh 氏より、5G の特性と、期待される応用分野、5G のエッジコンピューティングの可能性、5G 活用のプラットフォームの構築など、Verizon 社の様々な取り組みが紹介されました。



Verizon 社
Sumeet Singh 氏

【招待講演 2】

「地方における ICT の取組と 5G への期待」というテーマで、山口県知事 村岡 嗣政 氏より、昨今の山口県の課題、クラウド、VR、AIなどを活用した、山口県における ICT の取り組み、医療の遠隔サポートなどにおける 5G への期待、地方創生に向けた全国知事会の取り組みなどが紹介されました。



山口県知事
村岡 嗣政 氏

(1) 第1部：5G 総合実証試験の成果

冒頭、5GMF 5G システム総合実証試験推進グループ（5G-TPG）奥村リーダから総務省が進める 5G 総合実証試験の概要の説明がありました。それに続き、以下の4つのセッションでのプレゼンテーションにより、各実証実験の成果が説明されました。

司会：奥村 幸彦 氏 5GMF 5G-TPG リーダ

《第1セッション》

- ・「屋外環境における 5G 超高速通信を用いたサービス実証試験」

岡田 隆 氏 株式会社 NTT ドコモ

- ・「移動時かつ複数基地局、複数端末の環境下における超高速通信の実現」

一瀬 正則 氏 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

《第2セッション》

- ・「複数基地局、複数端末の環境下で上り超高速通信を可能とする第5世代移動通信システムの実証試験の紹介」

松永 彰 氏 KDDI 株式会社

- ・「屋内環境での第5世代移動通信システム実証試験」

横山 浩之 氏 株式会社国際電気通信基礎技術研究所

《第3セッション》

- ・「5G 高信頼・低遅延通信を用いた自動運転実現にむけた実証実験」

吉野 仁 氏 Wireless City Planning 株式会社

- ・「5G 多数同時接続の早期導入のための実証試験」

田島 裕輔 氏 Wireless City Planning 株式会社

《第4セッション》

- ・「5G 総合実証試験における電波伝搬特性の調査について」

北尾 光司郎 氏 株式会社 NTT ドコモ



奥村 幸彦 氏



岡田 隆 氏



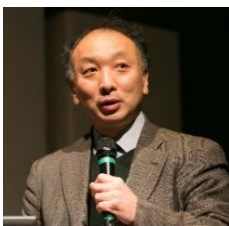
一瀬 正則 氏



松永 彰 氏



横山 浩之 氏



吉野 仁 氏



田島 裕輔 氏



北尾 光司郎 氏

(2) 第2部：5G サービスの実現

【パネルディスカッション】

携帯電話事業者各社が見据える 5G サービスの展望について、各社の 5G 事業展開の方向性、具体的なサービス・アプリケーションの内容等についてプレゼンテーションがあり、続いて、5G におけるビジネスモデル、普及のための課題、グローバルな視点における日本の 5G の進捗状況、5G により業界内外の連携はどう変わっていくか等に関するパネルディスカッションが行われ、それぞれについて各社の見解が示されました。

モデレータ：関口 和一 氏 株式会社 MM 総研 代表取締役所長
中村 武宏 氏 株式会社 NTT ドコモ 執行役員
小西 聡 氏 KDDI 株式会社 技術統括本部 モバイル技術本部
副本部長
野田 真 氏 ソフトバンク株式会社 モバイルネットワーク本部長
佐藤 祐介 氏 楽天モバイル株式会社 執行役員



左から：

関口 和一 氏、 中村 武宏 氏、 小西 聡 氏、 野田 真 氏、 佐藤 祐介 氏

(3) 第3部：ローカル 5G への期待

【パネルディスカッション】

冒頭、総務省 磯 寿生 地域通信振興課長よりローカル 5G の政策について概要説明がありました。それに続いて、自治体・有識者・ベンダからそれぞれの現場における課題とローカル 5G のユースケースについてプレゼンテーションがあり、今後地域に根差すローカル 5G の在り方や普及の進め方、導入に係る課題と解決策等について、活発なディスカッションが行われました。

モデレータ：三瓶 政一 氏 大阪大学 教授

(5GMF 地域利用推進委員会 委員長)

磯 寿生 氏 総務省 情報流通行政局 地域通信振興課長
黄瀬 信之 氏 岩見沢市 企画財政部情報政策推進担当次長
小池 聡 氏 ベジタリア株式会社 代表取締役社長
松田 圭太 氏 前橋市 情報政策担当部長
神田 隆史 氏 5GMF 地域利用推進委員会 委員長代理



総務省
地域通信振興課長
磯 寿生 氏



左から：

三瓶 政一 氏、磯 寿生 氏、黄瀬 信之 氏、小池 聡 氏、松田 圭太 氏、神田 隆史 氏

(4) 第4部：5Gの活用における企業間連携

【パネルディスカッション】

5G が実現する超高速、多数同時接続、超低遅延によってどのように進化・拡張していくか、メディア、MaaS、AR・E スポーツ、決裁の各領域の有識者によるプレゼンテーションが行われました。続いて、それぞれの分野における課題がどう解決され、さらに少し先の未来ではどのようなサービスの形になっていくか等について、様々な角度から興味深いディスカッションが行われました。

モデレータ：岩浪 剛太 氏 株式会社インフォシティ代表取締役

(5GMF アプリケーション委員会 委員長)

小池 政秀 氏 株式会社サイバーエージェント 常務取締役 /
株式会社 AbemaTV 取締役 [メディア]

成迫 剛志 氏 株式会社デンソー モビエレ事業グループ
デジタルイノベーション室長 [MaaS]

福田 浩士 氏 株式会社 meleap 代表取締役社長 [AR・E スポーツ]

柳瀬 将良 氏 PayPay 株式会社 事業推進室室長 [決済]



左から：

岩浪 剛太 氏、小池 政秀 氏、成迫 剛志 氏、福田 浩士 氏、柳瀬 将良 氏

閉会にあたり、一般社団法人 電波産業会 星 克明 開発センター長より挨拶がありました。

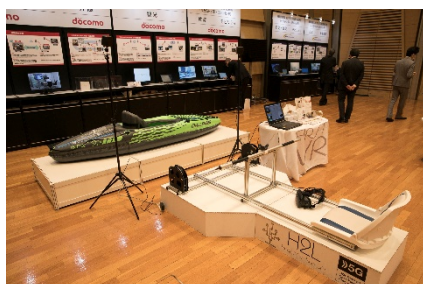


ARIB 開発センター長
星 克明 氏

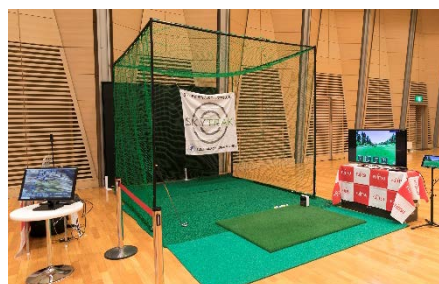
3. 5G 総合実証試験の展示・デモ概要

シンポジウム会場の隣に、5G 総合実証試験の展示ブースが設置されました。

2017 年度から開始した 5G 総合実証試験のこれまでの成果と、2019 年 1 月に開催した 5G 利活用アイデアコンテストの結果等を踏まえ、5G による地域課題の解決に資する利活用モデルに力点を置いた 5G 総合実証試験の展示があり、村岡山口県知事、田原総務省電波部長がご視察されるとともに、多数の来訪者があり熱心に質問する姿が見られました。



【G I NTT ドコモ】
屋外における 5G 超高速通信



【G II NTT コミュニケーションズ】
移動環境における 5G 高速通信



【GIII KDDI】
ニュースポーツ「スラックライ
ン」大会の 活性化



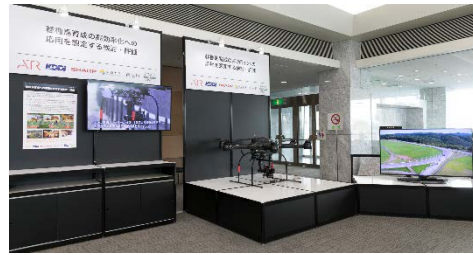
【GIII KDDI】
高精細 360 度 VR 映像
を用いた観光業促進



【GIII KDDI】
統合施工管理システム



【GIII KDDI】
山岳登山者見守
りシステム



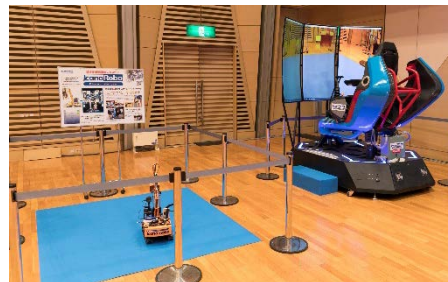
【GIV ATR】
軽種馬育成の高効率化



【GIV ATR】
酪農：畜産業の高効率化



【GIV ATR】
選手・観客の一体感
を演出するスポーツ
観戦



【GV WCP】
車両の遠隔操作/トラック隊列
走行



【GVI WCP】
5G for i-Construction／スマー
ト物流

第 283 回 技術委員会(通信分野)を開催

第 283 回技術委員会（通信分野）を開催しました。

- 1 日時： 2020 年 2 月 26 日（水） 15 時 30 分から 16 時 15 分まで
- 2 場所： 当会第 4 会議室
- 3 議題
 - (1) 第 114 回規格会議の開催について
 - (2) 自営無線通信調査研究会の活動状況と設置期間の延長について
 - (3) 日中韓情報通信標準化会議 第 57 回 IMT WG 会合の概要について
 - (4) 5G 国際シンポジウム 2020 の概要について

- (5) 2019 年電波利用懇話会の開催状況について
- (6) その他

今週の ARIB 内会合（3 月 2 日～3 月 6 日）

3 月 2 日（月）：固定系無線将来展望調査研究会 第 7 回会合

今週の国際会合（3 月 2 日～3 月 6 日）

参加を予定している会合はありません。

総務省からのお知らせ

電気通信事業法施行規則の一部を改正する省令案に関する意見募集

【令和 2 年 2 月 21 日発表】

総務省は、電気通信事業法施行規則の一部を改正する省令案について、令和 2 年 2 月 22 日（土）から同年 3 月 23 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和 2 年 2 月 21 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

令和 2 年度における電波資源拡大のための研究開発の 基本計画書（案）に関する意見募集

【令和 2 年 2 月 21 日発表】

総務省は、令和 2 年度から新たに実施する「電波資源拡大のための研究開発の基本計画書（案）」について、令和 2 年 2 月 22 日（土）から同年 3 月 13 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については [【令和 2 年 2 月 21 日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

陸上無線通信委員会報告（案）に対する意見募集
－ 「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」のうち
「構内における空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」 －

【令和 2 年 2 月 21 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 陸上無線通信委員会（主査:安藤 真 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事）は、「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」のうち「構内における空間伝送型ワイヤレス電力伝送システムの技術的条件」について陸上無線通信委員会報告（案）として取りまとめましたので、令和 2 年 2 月 22 日（土）から同年 3 月 23 日（月）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【令和 2 年 2 月 21 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

衛星通信システム委員会報告（案）に対する意見募集
－ 「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち
「高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる
Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」 －

【令和 2 年 2 月 26 日発表】

情報通信審議会 情報通信技術分科会 衛星通信システム委員会（主査:安藤 真 独立行政法人国立高等専門学校機構 理事）は、平成 29 年 6 月より「非静止衛星を利用する移動衛星通信システムの技術的条件」のうち「高度 1200km の極軌道を利用する衛星コンステレーションによる Ku 帯非静止衛星通信システムの技術的条件」について検討を行ってまいりました。

この度、委員会報告（案）を取りまとめましたので、本報告（案）について、令和 2 年 2 月 27 日（木）から令和 2 年 3 月 27 日（金）までの間、意見募集を行っています。

詳細については[【令和 2 年 2 月 26 日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp